

人材育成は「一専多能」で 顧客に応える企業づくりを推進

一足元の景況感は。

コロナ禍の中、2020年8月期は過去最高益を記録した。ここ3、4年は活発な設備投資で受注が活況だったことが要因とみている。ただ、新たな仕事を探す活動は大きな制約を受けた。21年8月期も当初計画通りに推移する。その上で、その先をどう見据えるかが重要と捉え、受注活動と並行して研究開発にも力を入れ、新たな用途開拓のためのテーマ探索も進めている。22年へ延期になった展示会「サーモテック」で技術開発の成果を発表できるようにする。さらに、顧客から要望が多い実験機の増設も計画する。

一人材育成に力を入れています。

人材は企業の財産でビジネスに直結する。受注生産のため毎回同じ設備になるとは

限らないだけに多くの経験が必要。机上の学習も大事だが、それ以上に実践の場をいかに経験するかだ。幅広いスキルを身につけた上で得意分野を磨き、第一人者を育てる「一専多能」がキーワードになる。そのための専任専門職制度も採り入れている。世代交代を見据えて過去の記録をデータ化した。技術・技能伝承にも役立てるとともに、顧客の要望に応える引き出しを増やすことにつなげる。

一滋賀工場に新事務所棟を建設されます。

今秋の完成を予定する。創業70周年時に100年企業を目指す」と表明したが、それには人材育成と同様にハード面のアップデートの必要性を感じた。最適な場所を選んで働く「ABW(アクティビティ・ベースド・ワーキン



富士電波工業
横畠 俊夫社長

グ)の考え方を導入。固定観念にとらわれることなく、働きやすさを追求し、効率向上につながる新たなオフィスを目指す。19年の工場増設時になくした食堂も復活させるが、多目的に活用できるよう若手のアイデアを生かしていく。

いずれは本社・工場も手を入れなければならないが、それには本社が担う機能をあらためて考える必要がある。社員が会社への期待感を持ち意欲につながるものでありたい。それが最終的に顧客の役に立つからだ。そうした企業を目指していく。




新素材開発用の多目的高温炉
「ハイマルチ」

Fuji Dempa

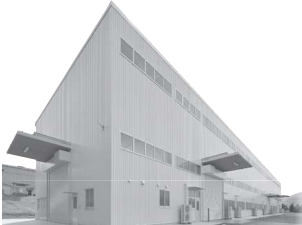
誠意・創意・熱意 みなぎる

「相談し甲斐のあるエンジニア」がいっぱいいる会社


新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて72年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



大阪の元気!ものづくり企業
2018年度
審査委員特別賞受賞!



2019年に拡張工事が完成した滋賀第3工場



真空ホットプレス

真空中で高温加熱しながらワークに機械的な荷重を加える加熱装置。ファインセラミックスなど粉体から緻密な成型体を得る焼結や、各種素材同士や異種材料の接合用途に適しています。2000℃超の高温に対応し、プレス圧力も60トンまで幅広い製作実績。

「ものづくりの魂」をつなぎ人と地球の未来を創る

富士電波工業株式会社 Est. 1948

本社：大阪市淀川区新高2-4-36
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場 つくば事業所

<http://www.fujidempa.co.jp> ISO 9001

営業品目

- 真鍮液誘導炉・真空溶接炉・加圧溶接炉・高圧溶接炉
- 誘導加熱装置:ヒートヒーター、バーヒーター、焼入れ装置、ろう付け装置、焼ほめ装置、乾燥炉、焼結炉
- 焼結炉、ホットプレス・真空電圧誘導気焼結炉・ホットプレス、加圧誘導気焼結炉・ホットプレス、連続炉
- 黒鉛化炉、熱処理炉、脱フッ素炉、多目的高温炉、昇華炉、CVD装置、ローラーハウス炉
- シリコン加熱装置、熱解析、委託実験